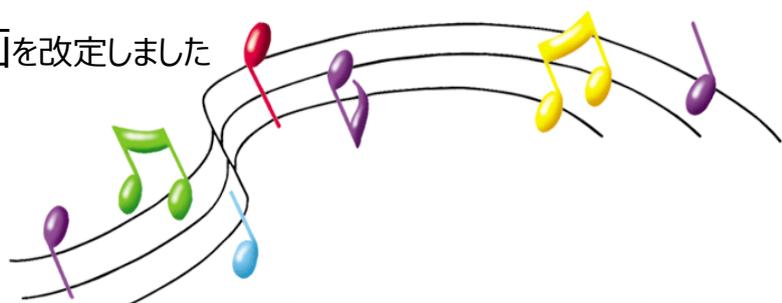


狛江市男女共同参画推進フォーラム開催！

# 狛江のパパをモテパパに！！ ～my sweet “home”の作り方～

- ♪ 歌手・会社員 木山裕策さんがご講演！
- ♪ 狛江市男女共同参画推進計画を改定しました
- ♪ 皆さんの男女共同参画意識は？
- ♪ 多様な働き方をテーマにリポート



# 「狛江のパパをモテパパに！！

## ～my sweet “home” の作り方～

### 木山家のモットーは「共に育てて、共に育つ」



木山裕策さんは、会社員としても多忙だった時期に甲状腺のがんになりました。現在は4人の男の子（プラス犬も男の子！）のお父さんですが、病気の後四男が生まれ、その次の年に歌手としてデビューされました。

夫と妻が力を合わせることで、子どもたちも含めて一緒に時間を過ごしている間は、お互い信頼し合って「任せ合う」ことが、家族自体が幸せに、楽しい時間を過ごすコツ。また、その中でも**時間の使い方が重要**で、自分の時間を確保することでやりたいことができ、木山さんの場合はそれが歌でした。デビューを目指して頑張る姿を子どもたちに見せていくということが大切なのかなといった24年間の子育てを通しての気づきなどをお話いただきました。

#### ♪「任せること」「時間の使い方」の大切さー時間が足りない！

4人の男の子がいる木山家の大変さは、「食事」、「洗濯」といった家事の量。子どもの世話、食事に洗濯や掃除は本当に時間がかかるもので、とにかく家事が終わらない。その時間を確保するためには1人で頑張っても絶対に無理で、木山家ではお子さんたちも労働力に。その際、ルールを決めるところからお子さんに任せることに。そうすると、子どもたちが自分たちでルールを考えるのですごくいいなと感じたそうです。また、仕事は時間の管理が可能で、家事は子どもが毎日事件を起こすので時間の管理が全くできないし、思い通りにいかない。そんなことから、会社員として仕事をしながら家事育児をやるのはものすごく難しかったそうです。

お父さんが子育てをする必要性について、木山さんは、家族のバランスを保つ重要性から理解する必要があるとお話しされました。「仕事はお父さん、育児はお母さん」ーこういう家庭だと、どちらかが大変になった時、家庭のバランスがあっという間に崩れてしまう。お父さんとお母さんそれぞれが「仕事」と「育児」という2つの軸を持っていれば、どちらかが大変になっても家庭の中で補い合うことで、家庭の中での仕事と育児のバランスは崩れにくくなるのではないかと思ったそうです。

## 私たち男女共同参画推進委員会委員が推進しています！

他を認め、他を思いやる。そして誰もが自分らしく生きる。そんな当たり前が難しい環境になっています。男女共同参画の活動を通して皆さまと様々なことを学び情報発信をします。どうぞ関心を持って機会があれば是非ご参加ください。  
委員長 高田 礼子

男女共同参画に参加してよかったことは、自分が気付かなかったことに会うことです。定例会議、多摩3市の市民サポーター会議、会社視察に参加し勉強になりました。今後ともみなさんと一緒に活動したいと思っています。

副委員長 菊池 正明

狛江市男女共同参画推進委員会は市民の方々が少しでも住みやすくなるよう活動しています。そして、毎年1月には気軽に参加できるフォーラムも開催しています。まだ参加されたことがない方々、ご参加お待ちしております。  
石黒 昌和

私の座右の銘の一つは、『一隅を照らす』 成功や活躍せずとも、自分の置かれた環境で、職場でも家庭でもまわりにいる人に温かい光をささやかでも送ればそれでよし、そんな考え方です。(比叡山延暦寺の石碑より)  
下田 禎敏

今年度は平成27年度にスタートした男女共同参画推進計画が最終年度の5年目を迎え、集大成の年となりました。私も委員を務めた5年間を振り返り、時代の変化と活動内容の発展がとても感慨深いです。  
平野 竜智

狛江市に住みはじめて8年目。コンパクトな市だからこそ、風通しのよさや地域参加・創意工夫のしやすさなどを肌で感じます。すべての人にとって暮らしやすい街づくりの手助けが少しでもできればと思っています。  
中山 潤子

# 狛江市男女共同参画推進フォーラム（講演会） 令和2年1月19日（日）中央公民館地下ホール

また、分担するバランスは半々が1番いい割合かという、家庭によって全然違うと思うので、分担するルールや割合などを2人で話し合っ決めて、やり方は相手に任せるといった関係性がよいのではないかと、そして、木山家ではそれを実践されているとのこと。例えば、育児のやり方が分からないお父さんも、会社ではきちんと働けてますよね。会社で仕事を任されて「やったことがないからできない」とは言わないですよね。だから同じように育児についても、お父さんに任せれば絶対に頑張るはずとのことでした。

## ♪自分らしい生き方の実現

小さい頃からとにかく歌が好きだった木山さん。36歳の時にがんになり、「なんでもっと歌っておかなかったんだろう」どうしてもこの思いが頭から離れなかったそうです。そんな思いから「自分のやりたいことって何だろう」と考え、オーディション番組にチャレンジし、今回披露していただいた「home」という曲でデビューされました。「人生という限られた時間をいかに充実させるか」-今は子育てを最優先でやっているけれど、自分のやりたいことをいつかできればいいと思っていた木山さんが、病気になり「残された時間の中で自分ができることが意外と少ないかもしれない」「何か今のうちにやらなきゃ」と思ったそうです。そして、今は、歌と子育てで世の中をもっと楽しく！というコンセプトで活動されています。



## ♪参加者からの質問にもお答えいただきました！

1歳のお子さんを子育て中のお父さんからは、妻とけんかした時や理由が分からず不機嫌な妻へのうまい接し方についての質問が。木山さんも「特に夫に対してはむかつくことがあるみたい」と共感したうえで、じっと我慢することだと。それから、木山夫妻は毎日スイーツを買ってきて夜中2人で食べて気を紛らわせる時間を作られていたようです。

また、息子が将来家事がちゃんとできるか心配なお母さんからの、家事の克服方法についての質問に対して、木山さんはインターネットの動画などで習得されたとのことでした。

刻々と変化する社会状況にあっても、男性と女性の感性の違いはさまざまな形で豊かさをもたらしているように思います。それぞれおかれた中で自ら考え、行動し、自らを活かす生き方ができればと思っています。

中山 美津江

私自身が狛江市に男女共同参画について市民参加の委員会があることを知りませんでした。比較的、こういうテーマについて理解があるつもりでしたが、会合参加を通して知らないことが多いなあと感じている次第です。自分自身の意識を変革しつつ、狛江市に関わるすべての人がこの問題に意識を向けるようになればと思っています。

馬場 正彦

狛江市に住んで20数年。初めてこのような機会に恵まれ貴重な経験をさせていただいております。狛江市が今まで以上に住みやすくなり、住む方々が輝き、狛江市に誇りを持てるよう微力ながら貢献したいとの思いが強まりました。

横山 武志

働き方改革、ワーク・ライフ・バランス、子育て、社会や企業、個々の意識を変えて行く必要がある。身近で出来ることから、先日の子育てフォーラムの様に楽しく学び、男女共同参画を進める。まずは各人が自分の人生設計をどうするか選択するべきである。

西山 偕子



## - 狛江市男女共同参画推進委員会とは -

内閣府では「男女共同参画社会基本法」に基づき、男女共同参画社会づくりの施策を総合的かつ計画的に推進しています。「狛江市男女共同参画推進委員会」は、この法律に基づき、内閣府の施策を推進し、狛江市の男女共同参画社会の形成を促進するための委員会です。2年間の任期で、最終年度に提言を出しています。狛江の暮らしやすいまちづくりのため、会議で意見を交わしたり、皆で協力してフォーラム等を実施したり、日々奮闘しています。

## 狛江市男女共同参画推進計画を改定

令和2年3月で計画期間が終了となる「狛江市男女共同参画推進計画」を、現状や課題を踏まえるとともに、新たな視点などを加え、令和2年4月からスタートする計画として改定しました。市が目指す姿を示している基本理念には、自分らしい生き方を、自らが希望する形にデザインし、実現できるまちを目指したいといった思いを込めています。

### － 狛江市男女共同参画推進計画とは －

「男女共同参画社会基本法」に規定する市町村男女共同参画計画に該当するもので、一言で言うと「狛江市における男女共同参画推進に関する市の方針」を示したものになります。この計画には「狛江市配偶者暴力対策基本計画」、「狛江市女性活躍推進計画」も含まれています。

個人としてお互いの人権を尊重するとともに、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮し、ともにあらゆる分野に参画し、自分らしい生き方を実践できる社会の実現を目指すことを目的とし、令和2年度から令和6年度までの5年間で取り組むべき施策、取り組みを位置付けています。狛江市男女共同参画推進委員会においても、計画の推進に関することが任務の1つとなっています。

### 基本理念

誰もがともに認め合い、個人として尊重され、  
自分らしい生き方ができるまちを目指して

#### ◎【基本目標1】個人として尊重される社会の形成

- 施策
- ・家庭、学校、地域等における男女共同参画意識の醸成
  - ・人権を尊重する意識の醸成
  - ・配偶者等からの暴力の防止と被害者支援
  - ・法・制度等の周知・普及
  - ・相談体制の強化
  - ・生涯を通じた心身の健康支援

「狛江市配偶者暴力対策基本計画」の位置づけも兼ねています。

#### ◎【基本目標2】子育て・介護を支える環境の充実

- 施策
- ・子育てを支える環境の充実
  - ・介護を支える環境の充実
  - ・自立支援・介護予防の促進
  - ・地域における人材の確保

#### ◎【基本目標3】多様なライフスタイルの実現

- 施策
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進
  - ・男性の家事・育児・介護への参画支援
  - ・キャリア・ライフデザインの支援
  - ・事業者等への情報提供と連携強化

#### ◎【基本目標4】地域社会における男女共同参画の推進

- 施策
- ・政策・方針決定過程における男女共同参画の推進
  - ・地域・市民活動における男女共同参画の推進
  - ・男女共同参画の視点による災害対策の推進

基本目標2～4は「狛江市女性活躍推進計画」の位置づけも兼ねています。

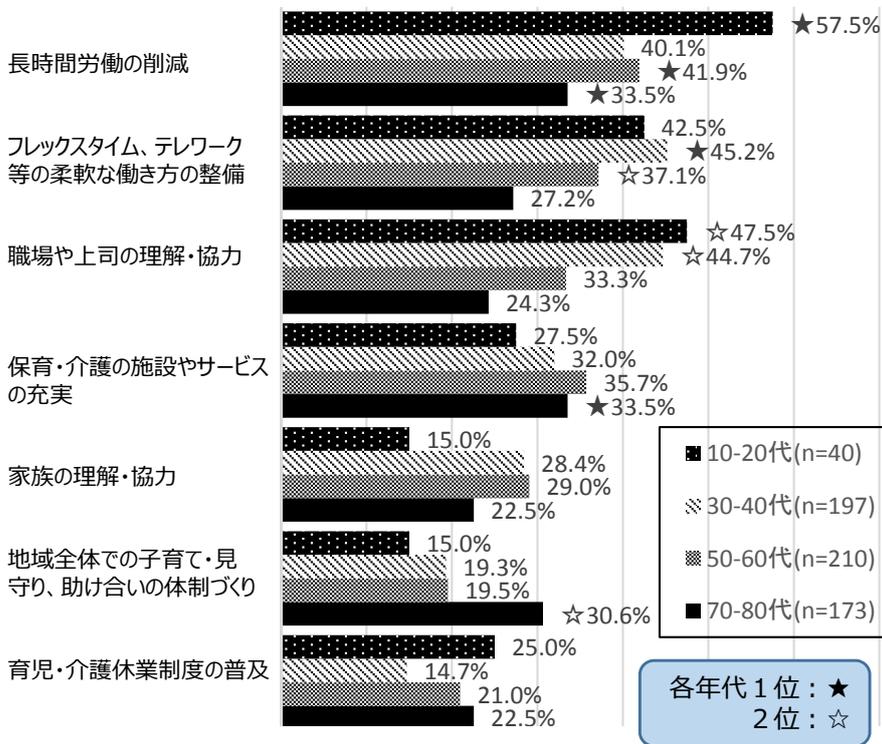
#### ◎【基本目標5】男女共同参画実現に向けた体制の強化

- 施策
- ・市内推進体制の充実・強化
  - ・国や都、他自治体、関係機関との連携
  - ・市民等との連携・協働
  - ・市役所における男女共同参画の実践

◎は特に力を入れるべき目標（重点目標）として設定しているものです。

## 男女共同参画に関する市民意識調査を実施

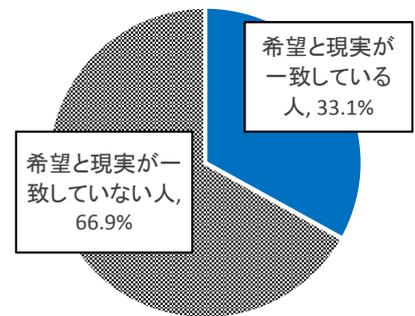
### 『ワーク・ライフ・バランスの実現のために必要なことは？』（年代別）



「狛江市男女共同参画推進計画」の改定にあたり、市民の男女共同参画に関する意識や実態を把握することを目的に、令和元年5月15日～6月7日までの期間、市民1,500人の方を対象として実施

総回答者数：626人  
回収率：41.7%

### 『ワーク・ライフ・バランスの状態：希望と現実の一致』



### 『男女共同参画に関するキーワードの理解度（内容まで知っている人）』

社会の動き・言葉等	平成26年度	平成31年度
狛江市男女共同参画推進計画	0.7%	6.5%
男女共同参画社会基本法	6.4%	11.7%
女性活躍推進法	—	11.8%
配偶者暴力防止法(DV防止法)	26.6%	34.3%
ストーカー規制法	36.3%	45.5%
児童虐待防止法	—	45.4%
ジェンダー	18.1%	41.2%
ワーク・ライフ・バランス	18.1%	36.1%
働き方改革	—	47.9%
イクメン	—	67.6%
イクボス	—	16.5%
ダイバーシティ	—	32.1%
ポジティブ・アクション	3.4%	10.1%
セクシュアル・マイノリティ	16.7%	54.2%
デートDV	11.8%	33.4%
JKビジネス	—	38.0%
介護離職	—	52.6%
ダブルケア	—	29.9%



市民意識調査の結果の詳細は、市ホームページをご覧ください！  
<http://www.city.komae.tokyo.jp/>  
 ホーム > 市政情報 > 有償刊行物の案内  
 > 平成31年度発行分有償刊行物



## 非営利型株式会社Polaris (調布市仙川町1-16-4 “cococi”内) を訪問 お話を伺ったのは・・・ 代表取締役 大槻昌美さん、市川望美さん、篠宮悠子さん (令和2年2月5日)

お隣の調布市を拠点に、地域の女性が多様な働き方を  
実現するための仕組みづくりを目的としてさまざまな事  
業を展開されているPolarisの代表取締役の大槻さん、  
創業者の市川さん、狛江市在住の篠宮さんの3名にお話  
を伺いました。「暮らす」と「働く」を分断せずに、地  
域で働くことのできる仕組みは、育児期の女性にとっ  
ての心強い働き方であるだけでなく、ワーク・ライフ・  
バランスの充実にも一役買う働き方だと感じました。

- 【主な事業内容】
- ★ワークシェア事業の運営  
「セタガヤ庶務部」のコーディネーター
  - ★Local×co-working Loco-working事業  
地域情報提供サービスの担い手として  
地域に詳しい子育て中の女性が活躍
  - ★地域ワークシェア構想  
多様な働き方でまちを活性化

詳細が気になる方  
はこちらから!



### とにかく働きたい! 社会と繋がってほしい!

大槻さん自身、自分が産後といってもいい時期に産前産後のお母さんたちの支援をされていたこと。「地域で子育てしながら、居場所だけじゃなく出番があるのってすごくいいな。誰でもこういう機会を得られるような仕組みを作りたいな。」こんな思いから、同じ団体に支援活動をしていた市川さんが女性の働き方を作る事業の会社を立ち上げる時に、創業メンバーとして加わったそうです。

### 小さくても「仕事」であることへのこだわり

地域に関われるきっかけがボランティアではなく、キャリアとして選べるような仕事であることで  
もっと地域に人材が留まることができる。篠宮さんは、子育てサイト「こまえスマイルぴーれ」の編  
集委員をしていた時にPolarisに出会い、「それ仕事になるよ」と言ってもらって、産後初めて記者の  
「仕事」をし、狛江という地域で働くことを実現されているお1人です。

### 地域で暮らしていることが仕事になる。そして地域にも貢献

Polarisの仕事は、所属しているスタッフがいろんな地域に出向くというよりは、仕事のある地域で  
仲間を見つけるといった形。事例の1つで、マンションギャラリーの一部となっていたコミュニテイ  
スペースのスタッフは、周辺に住む子育て中の女性たちでした。地域情報をよく知っている人たちな  
ので、マンション購入希望者が知りたい情報を話せるし、説得力もあり、その結果、マンション購入  
の後押しにも繋がったそうです。地域で仕事ができることで、暮らすと働くが一緒にでき、地域のこ  
とを仕事にしていくと、より住んでいるまちを好きになっていく人が増えるとのことでした。

### 「1人じゃなくてみんなでやろう」がベース

在宅でクライアントと1対1の繋がりは結構ハード。Polarisは必ずチームで仕事を受けるので、仕  
事から離れていた人が久しぶりに働く際の心のハードルがすごく下がるそうです。仕事のクオリティ  
を担保してくれるコーディネーターがいるので「1人ではなかなか踏み出せないけれど、仲間となら  
やれそう」という、安心で、心強い環境が用意されています。また、雇用ではなく業務委託なので、  
全員が個人事業主として対等な関係性の中で業務を進めているとのことでした。

#### 令和元年度 東京都女性活躍推進大賞を受賞!

女性の活躍推進について、優れた取り組みを行って  
いる企業や団体を東京都が表彰するもので、行政の  
推薦による「地域部門」において、地域の女性が多  
様な働き方を実現するための仕組みづくりによる女  
性が活躍する場の創出と地域の活性化への寄与が評  
価され、大賞を受賞されました。



市川さん

大槻さん 篠宮さん

## ZXY和泉多摩川（和泉多摩川駅構内）を訪問（令和元年12月5日）

お話を伺ったのは・・・株式会社ザイマックス 池田紗恵さん・角田七海さん



池田さん

角田さん

今話題のサテライトオフィス※事業を展開している株式会社ザイマックスの池田さん、角田さんにお話を伺いました。「ZXY（ジザイ）」は都心部から郊外（※山手線外）居住エリアまで74の拠点を持つサテライトオフィスで、1,200社・22万人が登録しており、契約した企業の社員であればすべての拠点を利用することが可能。また、15の拠点では専門スタッフ常駐のキッズスペースが併設されており、その1つが和泉多摩川駅構内にあります。働き方改革が推奨されている昨今、自分に合った働き方を“ジザイ”に実現する仕組みを聞くことができました。

※拠点数、登録者数、登録人数は令和2年2月時点

### 新しい形のワークプレイス

ZXYは駅から徒歩5分以内でアクセスでき、都心だけでなく郊外にも多くの拠点を設けています。そのため、通勤ストレス解消のために午前中は自宅近くのZXYで働いてから出社する方や、出先で気軽に利用する営業マンなど、時間と場所に捉われない多様な働き方が可能となっています。設備面では、オープンスペースだけではなく、「集中して仕事ができる場所」ということが大切にされていて、防音に配慮した個室も用意されていました。



詳細が気になる方はこちらから！



※サテライトオフィス：本社や支社といった通常のオフィスとは別に、本来の勤務地とは別の場所にあるオフィスのことです。

### ZXYが目指すもの

より多くの方の通勤時間やストレスの削減に繋がる「家の近くのワークプレイス」、働く人の快適さと企業の安心・安全に配慮した「人にも企業にも優しいワークプレイス」、地元で働くことで地域を再発見するきっかけを提供する「地域とつながるワークプレイス」といった3つのビジョンが掲げられています。

### 安心のキッズスペース

企業が効率化を求めらる中で在宅勤務という方法もありますが、在宅だと子どもがいてオン・オフの切り替えができないということもあるとのこと。ZXY和泉多摩川はキッズスペースが用意されていて、そういった方が集中して仕事に取り組むことができる環境になっています。

### 利用時間の全体的な傾向

都心では営業マンの利用が多いため2時間程度の利用が多く、時間帯については午後2時頃から混み始めて午後3時～4時がピークとのこと。郊外では朝の通勤前に自宅近くの拠点を利用して午前11時頃出社する方や、夕方早めに会社を出て自宅近くの拠点を利用して少し仕事をして帰るという形で利用されています。

### 今後のビジョン

2020年夏季イベントに向けて国や東京都がリモートワークやテレワークを推奨しており、この先も通勤・移動時間の削減等により効率性を上げることを目指す流れは変わらないだろうとのこと。「サテライトオフィスはブームのようになっているが、ブームで終わらせてはいけない」という思いの中で、拠点数を増やすことや企業専用のサテライトオフィス「ZXY Monthly」というサービスの拡大等が進められています。働き方は今後も1つではないと思うので、その選択肢を増やすことが使命であるとお話でした。



おしゃれなオープンスペースで

- ◆「社員のためになるのであれば」「効率化できるのであれば」利用しようという世の中の動きをさらに加速させてほしい。
- ◆シェアオフィスが最寄りの駅にあるというのは面白い。
- ◆狛江や和泉多摩川に住んでいて、そこで働く人が増えるというのは面白いアイデアであり、いい刺激を受けた。
- ◆長く続けて、もっと活用され盛り上がると良いと思う。
- ◆サテライトオフィスで働くという選択肢もあるのだと思った。
- ◆これから大きな可能性を秘めていると感じた。

<視察の感想 -委員会より->

# 狛江市からのお知らせ

## 女性のためのカウンセリング

「自分自身の生き方のこと」「夫婦・家族間の問題」など、何気ないお悩みをご相談いただけます。

〔日 時〕 毎月第2・4水曜日 午前9時～正午（お1人60分）

〔相談員〕 カウンセラー（女性）

## カウンセリング・心の相談

〔日 時〕 毎月第1・3・5水曜日 午前9時～正午（お1人60分）

〔相談員〕 カウンセラー

〔場 所〕  
市役所 2階市民相談室

\*ご予約は、  
秘書広報室まで  
☎03-3430-1149

## 子育て応援プログラム

「ノーバディーズ・パーフェクトプログラム（NP）」など親支援のプログラムや「パパのベビーマッサージ」など子育てに関する各種講座を実施しています。

### ◇こまえ子育てねっと（行政情報）

子育てに関する最新の行政情報などの子育て情報専用サイト

<http://komae-kosodate.net/>



### ◇こまえスマイルぴーれ（市民手作り）

狛江の子育てを応援しようという市民ボランティアによる子育て中の親の視点から情報発信！

<http://piele.komae-kosodate.net/>



## 男女共同参画関連サイト

### ◇狛江市ホームページ 男女共同参画推進ページ

<https://www.city.komae.tokyo.jp/index.cfm/44,0,557,html>



### ◇東京都生活文化局 男女平等参画

<http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/danjo/>



### ◇TOKYO ワーク・ライフ・バランス

<http://www.tokyo-danjo.jp/lwb/>



### ◇東京ウィメンズプラザ

<http://www1.tokyo-womens-plaza.metro.tokyo.jp/>



### ◇厚生労働省委託事業「イクメンプロジェクト」

<http://ikumen-project.mhlw.go.jp/>



### ◇男性の家事・育児参画応援サイト 「パパズ・スタイル」

[http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/danjo/wlb\\_top/0000001091.html](http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/danjo/wlb_top/0000001091.html)



本情報誌に関するご意見や男女共同参画に関するご意見等、下記連絡先までお寄せください。

発行・編集 狛江市男女共同参画推進委員会・狛江市 令和2年3月発行  
狛江市 企画財政部 政策室 市民協働推進担当 〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5  
TEL 03-3430-1164 FAX 03-3430-6870 E-mail kyodot@city.komae.lg.jp